

関西支部 第486回航空宇宙懇談会

主催：日本航空宇宙学会関西支部
共催：大阪公立大学大学院工学研究科
航空宇宙工学分野

日時：令和5年5月19日(金)15:00~17:00
会場：大阪公立大学およびオンライン (zoom)
大阪公立大学工学研究科B6棟105教室
〒599-8531
大阪府堺市中区学園町1-1
TEL: 072-252-1161 (代)
交通アクセスは次頁をご覧ください。

講演

1：「直交格子法流体シミュレーションの航空宇宙分野における取り組み」

講演者は、CFDを用いた様々な空力最適化と並行して、直交格子を用いた流体シミュレーション技術の研究を実施してきた。近年汎用ソルバとして使用されている非構造格子とは異なり、物体境界を階段状表現することのデメリットがある一方で、実形状に対する格子生成の容易さや高次精度解法の導入のしやすさ等のメリットも多い。本講演では、直交格子を用いた解析の航空宇宙分野への適用例として、火星探査航空機の環境を模した低レイノルズ数流れにおける翼周りの動的解析、航空機のファン騒音低減に使用される吸音ライナの空力音響解析等を例に紹介する。

大阪公立大学
工学研究科航空宇宙工学分野
佐々木 大輔 教授

2：「新明和工業における航空機開発機会の創出について」

航空機の自動・自律化や安全性要求向上に伴うシステムの複雑化に加え、先進七か国以外の隆

盛を勘案すると、本邦の航空機産業は技術の継承・維持だけでなく積極的キャッチアップの方策を実行すべきフェーズにあると考えられる。一方、民・防を含めた国内市場の僅少さに起因し、日本国内の新型機開発の機会は大きく制約されてきた。キャッチアップの内容として技術の高度化や法制度面の近代化のみならず、新たな開発機会の創出及び人材発掘と育成といった観点から多様な取り組みが求められる。本講演では新明和工業株式会社において2015年より継続的に実施してきた無人航空機・小型航空機に関わる研究開発活動を紹介するとともに、今後の産官学の連携等について展望を述べる。

新明和工業株式会社 航空機事業部 技術部
UAV開発課 課長
宮内 空野 氏

参加費：無料

参加は会員に限りません。周りの方や学生の皆様にもお伝えください。

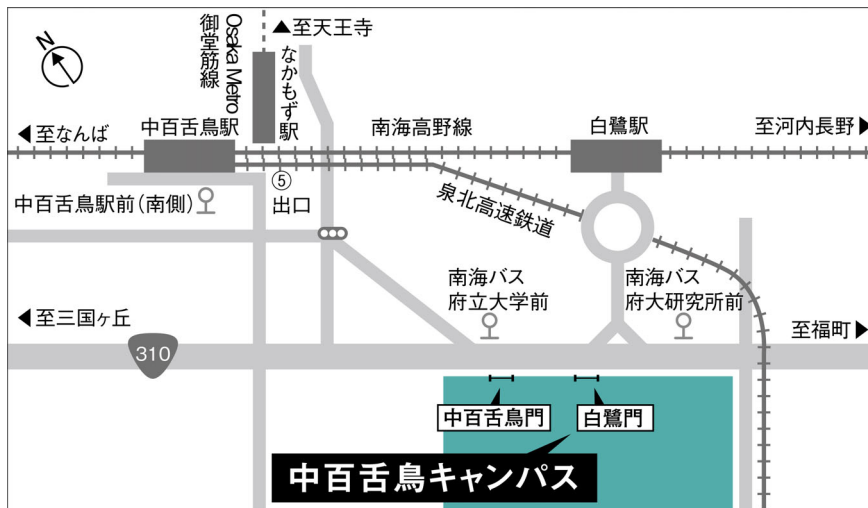
開催形態と登録：

対面とZoom配信のハイブリッドで行います。参加登録は5月17日(水)までに、関西支部ホームページよりお願いします。

問合先：

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
大阪公立大学工学研究科航空宇宙工学分野
日本航空宇宙学会 2023年度関西支部事務局
<http://branch.jsass.or.jp/kansai/>
TEL：072-254-9244 (金田)
FAX：072-254-9906

大阪公立大学 中百舌鳥（なかもず）キャンパス



中百舌鳥キャンパスまでのアクセス

- 南海高野線「白鷺駅」下車，南西へ約 500m，徒歩約 7 分.
- 南海高野線「中百舌鳥駅」下車，南東へ約 1,000m，徒歩約 13 分.
- 地下鉄御堂筋線「なかもず駅（5号出口）」から南東へ約 1,000m，徒歩約 13 分.
- 南海高野線「中百舌鳥駅」・地下鉄御堂筋線「なかもず駅」から南海バス（北野田駅前 31, 32, 32-1 系統）で約 5 分，「府立大学前」下車.
- 南海本線「堺駅」から南海バス（北野田駅前 31, 32, 32-1 系統）で約 24 分，JR 阪和線・南海高野線「三国ヶ丘駅」から南海バス（北野田駅前 31, 32, 32-1 系統）で約 14 分，「府立大学前」下車.

下記URLもご参考ください.

<https://www.omu.ac.jp/about/campus/nakamozu/>

B6 棟

